

# 千住消防団 だより

第 84 号

編集・発行  
千住消防団編集委員会

印刷：株式会社SGネクスホールディングス

## 令和8年度千住消防団消防操法大会の実施

令和8年5月24日（日）、千住緑町三丁目30番1号帝京科学大学4号館グラウンドにおいて、令和8年度千住消防団操法大会を開催しました。

今年度も出場団員は、本業の傍ら平日の夜間や休日を活用し、各分団日々訓練に励んできました。

当日、宿場町として栄えたことを想起させる千住ならではのエネルギーギッシユな黄色い声援に包まれ、各分団がこれまでの訓練の成果を十分に発揮した活気あふれるポンプ操法を披露しました。



操法は、可搬ポンプ操法のうち基本操法のホース延長操作と付加操法のホース1本増加操法から構成され、各分団から計8隊が優勝を目指して出場しました。操法の練度、行動動作の俊敏性、指揮、規律及び節度についての審査が行われ、いずれも技量伯仲のなか、第7分団が優勝し、準優勝では第8分団が、3位で第4分団という結果となりました。

随所に発揮され、どの分団からも規律ある動きと力強い操法が見られ、会場は終始引き締まった空気に包まれていました。

本大会を通じて、感じられたのは技術の向上だけでなく、団員同士の結束力の強さでした。一つひとつの動作に込められた思い、仲間を信じて任務を全うする姿は、日頃の訓練の積み重ねの賜物であり、千住という由緒正しき町を守る力そのものであると実感いたしました。今年度も、発災が危惧されている首都直下型地震や火災等の各種災害において、培ってきた経験と高い使命感を持ち合わせ、引き続き消防団活動に尽力していきたいと考えております。

本大会の開催にあたり、ご尽力いただいた関係各位ならびに温かいご声援をお寄せいただいた皆様に、心より感謝申し上げます。今後とも、千住の町の安全・安心の確保に邁進してまいります。

## 消防庁長官章受章

令和8年3月6日（金）千住消防署防災教室にて、小池 栄一団長が消防団員として永年にわたり献身的な活動を続けられてきた功績により、消防庁長官章を受章し、山根千住消防署長（現・京橋消防署長）より授与されました。

日頃より地域防災の最前線に立ち、昼夜を問わず住民の安全・安心のために尽力されてきたその姿は、多くの人々に信頼と勇気を与えてくれました。今回の受章は、その弛まぬ努力と高い使命感が広く認められたものであり、心より敬意を表します。

この栄誉を励みに、今後もなお一層



ご活躍されることを祈念するとともに、引き続き地域防災の要として指導に注力していただきます。存じます。



着任挨拶 署長



千住消防署長  
本橋 哲也

この度の人事異動により、第七消防方面本部から千住消防署長に着任いたしました。どうぞよろしく願います。今年三月には、小池栄一団長が消防庁長官章を受章されたことに對し、深く敬意を表します。日頃から地

域に根差し、地道な活動を積み重ねてこられた成果であり、消防団の存在意義を改めて示すものであります。近年、各地で大規模災害が発生しており、消防団の果たす役割の重要性は一層高まっております。過去の震災や風水害においても、地域に根差した消防団の活動が被害の軽減に大きく寄与してきました。今後とも、地域防災力の中核として、地域住民に最も身近で頼られる千住消防団の活躍に期待しております。

着任挨拶 警防課長



千住消防署 警防課長  
深澤 幹雄

この度の人事異動により、芝消防署から千住消防署警防課長に着任致しました。どうぞよろしく願います。東京都消防操法大会（女性の部）への

出場は、技術向上はもとより、女性団員の更なる活躍の場となり、消防団全体の士気高揚につながる大変意義深い取り組みであります。日頃の訓練の成果を発揮し、安全確実な操法を通じて、その力を存分に示していただきたいと考えております。今後も、実戦的な訓練の充実と連携強化を図り、「いざという時に確実に動ける組織」として、より一層の発展を期待しております。

着任挨拶 予防課長



千住消防署 予防課長  
元山 一幸

令和8年4月1日付の人事異動により、深川消防署から千住消防署予防課長に着任致しました元山と申します。どうぞよろしく願います。近年、消防団を取り巻く環境は変化しており、

新型防火衣の導入など安全性と活動環境の向上が図られております。これらは、団員の皆様がより安心して活動できる体制づくりにつながるものと考えております。一方で地域防災力を維持・向上させていくには、団員確保が重要な課題であります。消防団の魅力や役割を積極的に発信し、団員募集に取り組んでいただくとともに、「火災を出さないまちづくり」を支える存在として、更なるご活躍を期待しております。

千住消防団の  
分団長就任挨拶

第6分団 分団長 大久保政俊

令和8年1月19日付で第6分団長に就任いたしました。

消防団は、自分たちの街は自分たちで守るという精神のもと、日夜活動しています。災害が発生しやすい時期には火災予防警戒巡回を強化し、有事の際に迅速かつ的確に動ける様、操法訓練や防災訓練などの技術向上に励んでおります。

私たちの使命は、皆様が安心して暮らせる街を守ることです。そのためには、地域の皆様との連携が欠かせません。また、現在新しい仲間（団員）を募集しております。性別や職業は問いません。地域貢献への志がある方は是非ともお力をお貸しください。

一丸となって安全、安心な地域づくりに邁進してまいります。今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

第7分団 分団長 塩畑 経義

令和8年4月1日付で第7分団長に就任致しました。今の時期は操法の訓練をしているのですが昔のことを思い出します。若かった頃、選手に選ばれて喜び、訓練は厳しかったですが達成感に満足して、大会は緊張感で落ち着かなかったです。今回、3、4番員が変わり訓練をしていますが一歩一歩上達している姿を見ると自分のことのよう嬉しくなります。第7分団も団員が少なく訓練や活動がこれまで以上に大変になってきていますが、限られた人数で出来ることを工夫しながら力を合わせて活動が続けていこうと思います。また、地域活動では住人の方と積極的にコミュニケーションをとり消防団活動を理解していただけるように努力したいと思えます。

幹部  
部  
コ  
ラ  
ム

第1分団 分団長

伊佐次敏春

天才の代名詞アインシュタインが大学の講義で九九の掛け算を書きはじめ「9×1＝9、9×2＝18・・・9×10＝91」そこで嘲笑が起きました。静かになるのを待って学生達にアインシュタインは「9つの成功を誉めず、たった一つの間違いを指摘する。」と言いました。消防団だけではないですが訓練などをしていって成功よりも失敗を指摘することが多いと思います。それ自体をダメとは思いませんが、それ以上に団員の成功や上達にも目を向けることが大切な気がします。全くの減点方式ではなく、加減点で漸進的な歩み、成長を評価してあげることで、団員の皆さんが活動や技術向上といったことに前向きになれるのではないのでしょうか。人は忙しいと大切なことを忘れてしまう瞬間があります。こんな機会にでも大切なものを思い出すきっかけになればと思います。

編集後記

第6分団 副分団長 須永 光

各分団の皆さま操法大会に向けて訓練頑張っていると思います。選手・後方支援の人員確保に苦労されたかと思いますが、結果は良かったのでしょうか？ベストを尽くされた結果だと思います。また、次回に向けて課題ができたと思うので、それを目標に頑張りましょう。

さて、近年、季節が早まりつつあります。これからが夏本番です。水分・塩分補給して室内では適切に冷房を使用し熱中症対策をして夏を乗り切りましょう。

分団だより

第5分団 副分団長 布川 岳男

近年の異常気象で山火事、竜巻、線状降水帯などがありますが、山火事での延焼の恐ろしさが記憶に残ります。私たちの千住地区での延焼を考えると恐ろしいですね？改めて団全員が操法、機材、消火栓の位置などの確認、シミュレーションなどをして、千住の街を守りたいと思いました。



## 消防団員募集



入団資格  
18歳以上の健康な方  
消防団の区域に居住・勤務・通学している方

<https://tokyo23city-syobodan.jp/>  
東京消防団

詳しくは特別区消防団HPをご覧ください。

0120-119-588

市町村の方は、各市町村の窓口までお問い合わせください。